

# 静和園だより

第29号

平成26年4月発行

編集発行：障害者支援施設 静和園

〒989-2112 宮城県亘理郡山元町真庭字名生東72-2 TEL (0223) 37-0075

ホームページ <http://miyagi-seiwakai.jp/seiwaen/>

メールアドレス [xseiwa@green.ocn.ne.jp](mailto:xseiwa@green.ocn.ne.jp)

利用者数  
男 42 名  
女 7 名  
計 49 名  
(4月1日現在)

## 会長挨拶

殊の外、寒さが続いた  
今年の冬もようやく終わり、  
待ち望んだ春の訪れを迎えました。

沖繩からスタートした桜前線も

だいぶ北上し、県沿岸最南端のここ

山元町の開花宣言ももうすぐ聞かれそうです。

静和会も四月一日より各施設の運営を中心とした  
新年度事業が始まりました。

平成二十五年度を真摯にふりかえり、より充実  
した、そして利用者の皆さん、ご家族の皆さんに  
より信頼される施設運営に一層の努力をしていき  
たいとおもいます。どうぞ変わらざるご支援、ご  
指導の程よろしくお願いいたします。

さて、あの想像を絶する東日本大震災から九三  
年がまたたくまに過ぎてしまいました。

去る三月十一日、静和会では職員有志により、  
震災三周年の鎮魂・追悼キヤンドルセレモニーを  
行いました。

大津波により亡くなられた多数の利用者の皆さん、  
そのかたがたをお守りするために最後まで懸命に  
避難誘導にあたり、共に亡くなった職員の皆さん  
一人一人に呼びかけ、それぞれのキヤンドル  
に点灯し、全員で献花をして、心よりのご冥福を  
お祈りいたしました。

そして、今後いかなる災害が起ころうとも、お  
一人、お一人の命をお守りできる施設に、より安  
全・安心な生活の場づくり、各施設全職員一丸  
となって努力することを改めて誓いました。

会長 北島 宏一



## 園長挨拶

東日本大震災から三年を経過し、山元町の復興  
計画もようやく姿が見えてきました。

被災された皆様に対し改めて心からのお悔みと  
お見舞いを申し上げます。

障害者の皆様に関する法律等が変わります。今  
年度から皆様がサービスを受ける基準の名称が  
「障害程度区分」から「障害支援区分」に変更され  
ました。障害者への差別解消法が昨年成立し、平  
成二十八年四月から適用されます。更に昨年の十  
二月に「障害者の権利に関する条約」が国会で承  
認されました。

我が国でも障害者の皆様が日常生活・社会生活  
を営むために必要な支援を受ける環境が整備され  
て来ております。

昨年度は利用者様同乗中の交通事故で、ご本  
人、ご家族様を始め関係者の皆様にはご迷惑をお  
掛けいたしました。

今年度は法人本部とも連携をとり、職員一丸と  
なり利用者様の安全を第一に、より皆様一人一人  
のニーズあった、本人中心の支援を行う覚悟で  
す。

今後の静和園の運営に対し、利用者、関係者の  
皆様および地域の皆様の一層のご指導、ご支  
援をお願いいたします。

園長 阿部 興紀

障害者の日  
ケーキ作り



四角の大きなスポンジ台(十二人分)を五人で一台ずつ担当。談話室がケーキ工房に早変わり。飾りのメインは山元町特産品の真っ赤な苺。

生クリームを塗って、真ん中にどーんと置いたら、スプレーチョコや小枝チョコ、アラザン、みかん・パイナップル・桃缶を思い思いに飾りつけ。個性豊かなケーキが完成！甘い物は別腹と、握り寿司でパンの皆様のお腹に消えていきました。

栄養士 志小田

障害者の日

ミニゲーム

(輪投げ)



超豪華(?)粗品をめくり熱い戦いが繰り広げられました(笑)皆さん笑顔の中にも秘めたる闘志を瞳に輝かせ一投一投真剣に投げ込まれておりました！  
冗談はさておき流石と言いますか、皆さんとてもハイレベルな戦いで、観戦している利用者さんからも「おおー!」っと思わず声上がるようなフラインプレーも多々見られております。

生活支援員 石井

動物ふれあい



今年度も菅原動物病院の皆様にご協力を頂き、動物ふれあい活動を行うことができました！  
利用者の皆様の笑顔が素敵ですね！

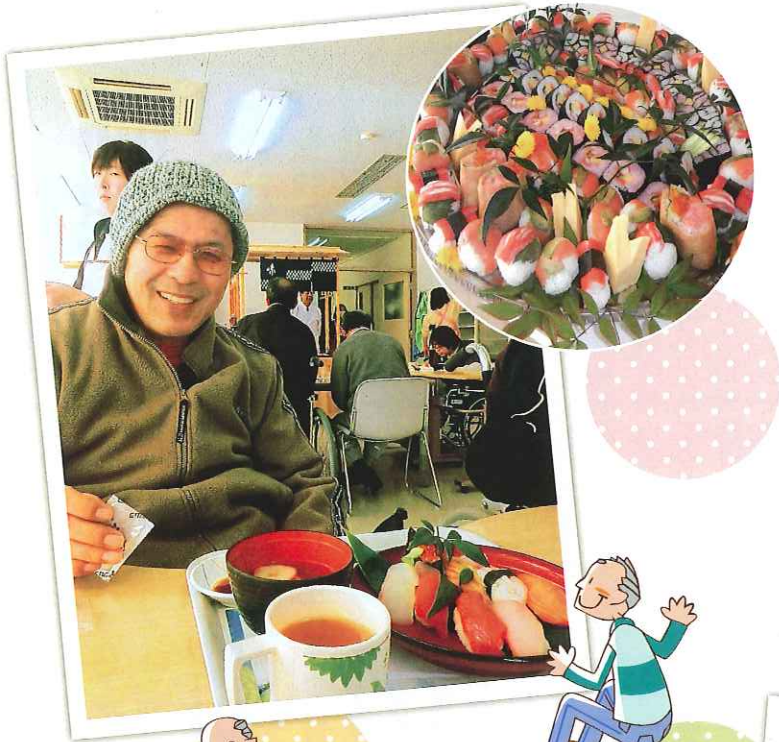
生活支援員 引地

障害者の日

# 食事風景

いつもお世話になってます、LEOCCです。  
障害者の日のお寿司の提供は、皆様の素敵な笑顔に一番近くでふれ合うことができ、大変うれしく、LEOCCの経営理念「喜びと感動」をお届けできたと思えました。

(株)LEOCC 栄養士 高子



## 年末もちつき



平成二十五年十二月二十七日、仕事納めの日恒例の餅つきが行なわれました。今年、佐々木安夫様と森永夫様のご家族様から頂いたもち米を使わせて頂きました。利用者の皆さんの元気な掛け声で大盛り上がりでした。  
出来上がったお餅は昼食にバイキング形式でお出しし、「やっぱり杵と臼でついた餅は美味しいな」と皆さん満足された様子でした。

相談主任 木村

# 訓練棟での 取り組み

静和園では訓練棟と呼ばれる場所で理学療法士が付き添い、利用者の方の身体機能面の支援を行なっております。障害によつて低下してしまった筋力や体力、柔軟性や関節の可動域といった運動機能面、また神経麻痺などに伴う動作の不安定や姿勢の崩れ、誤った運動習慣等といった活動面について、利用者の方お一人お一人にリハビリテーション計画を立て、改善や現状の維持・低下予防に取り組んでおります。

計画は三ヶ月に一度定期的に見直しを行ない、適切なサービスが提供できるよう努めております。

昨年末、訓練棟にてリハビリ備品の落下による頭部への打撲事故と起立台からの転落事故がございました。幸い大きな怪我には至りませんでした。事故の原因追及を行ない再発防止に取り組んでおります。前年度の事故を教訓に今年度は職員同士での二重確認体制を作り、器具や備品の安全確認の徹底を行なっております。

また、月に一度の安全点検日を設定して器具や備品類の消耗や劣化の早期発見と危険予測活動に取り組んでおります。職員以外の方々からも、「ここは危ないんじゃないの?」「この安全管理はどうなっているの?」等がございましたら積極的に施設側へお申し付け下さい。

理学療法士 佐藤



## おしゃべり会

平成二十五年十月から「おしゃべり会」というサークル活動が始まりました。月一回集まって皆さんで会話やゲーム・歌を楽しむ会で。当初は失語症当事者の会にしようと考えていましたが、参加人数の関係や利用者からの要望もあり、言葉に障害のある方も無い方も一緒に参加していただき、交流を楽しめるようにしていくしたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願いします。



言語聴覚士 小関

## 新採用職員



千尋美佐子さん

この度静和園さんにご縁があり働かせていただく事になりました看護師の千尋美佐子です。皆さんの身体をサポートしますネ!

## 利用者入退所

【入所】

今野 政秋様(岩沼市)

平成二十六年一月十六日

【退所】

小林 一男様(岩沼市)

平成二十五年十一月三十日

## 編集後記

ソチオリンピックの興奮も冷めやらぬまま、あっという間に桜の季節となりました。と書いておりますが、まだ周りにはたくさん雪が残っております……。

また震災から三年、これまでいろんなことを学び、周囲は少しずつ元通りになったり発展したりしています。

今年度も広報誌を通して多くの情報を発信していければいいなあと思っております。

静和園でも様々な季節の行事や取り組みを行なっております。これからも様々な取り組みを行なっていきたいと思っております。

広報誌編集委員